

ようじえんだより 2019年度3月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

3月主題『大きくなる』

主題聖句：私たちの主イエス・キリストの名により、父である神に感謝しなさい。
エフェソの信徒への手紙 5章20節

- ☆ 0～2歳児：一人ひとりの成長を神さまに感謝する。大きくなったことを喜ぶ。季節の変化を感じ、春を見つける。友だちの名前を覚えて、呼び合う。
- ☆ 3～5歳児：一人ひとりが神様に愛されているかけがえのない存在であることを感じる。神様への感謝、希望を言葉や讃美で表す。アイディアを出し合い遊びを充実させ、満ち足りた思いをもつ。仲間と共に見通しをもって自分たちの生活を組み立てていき、新しい生活への期待をもつ。

こころの成長

一つのときは なにもかも はじめてだった

二つのときは ぼくは まるっきり しんまいたった

三つのとき ぼくはやっと ぼくになった

四つのとき ぼくはおおきくなりたかった

五つのときは なにからなにまで おもしろかった

今は六つで ぼくはありっただけ おりこうです
だから いつまでも六つでいたいとぼくはおもいます。

(A.ミルン「詩集いま、わたしは6才『ぼくは六つになった』より)

クマのプーさんの作者であるミルンの詩を毎年3月に紹介していますが、子どもたちの「こ

ころの成長」を見事に表していると思います。私たちは子どもたちの目に見える成長に注目しがちですが、身体の成長とこころの成長は間違いなくセットであり、こころの育ちをサポートすることが養育・保育であり、愛情を注ぐことであると思われています。

子ども自身で成長していく

ミルンの詩を読むと、子ども自身が自分をみつめ、「大きくなりたい」「おもしろいことをしたい！」という意欲をもって成長したことがうかがえます。私たち大人は、食べ物や衣服や睡眠を保障し、子ども自身が意欲的に育つ関わりをすることが必要ですが、やはり我が子であっても人生を代ってあげることはできません。与えられた人生を自分自身で決めて、自分自身で生きていくのです。そこで子ども自身が一人では生きていけないことを自覚し、仲間を見つけ、喜びをもって生きていくことの大切さを知っていきます。大人として今できることをしつつ、あとは本人と神様に委ねつつ、幸せを祈りながら生きていきましょう。 園長:久保田愛策

年間主題『ことばに満たされて～ひびきあう～』

主題聖句：その人は流れのほとりに植えられた木。

旧約聖書 詩編1編3節